



平成22年12月号

No.621

広報

せとうち

SETOUCHI



重量級でも軽やかな走りを披露する選手たち

1月4日（火）瀬戸内町成人式開催

人口のうごき

平成22年11月1日

総人口	10, 157	(- 10)
男	4, 861	(- 6)
女	5, 296	(- 4)
世帯数	5, 527	(- 10)

カッコ内は前月との比較

今月の主な記事

- 町民体育大会……………P 2
- 議会だより……………P 3
- お知らせ……………P 15
- カレンダー……………P 19
- 戸籍の窓……………P 20
- まちの話題……………P 21

【にほんの里100選】・【島の宝100景】の町

10月10日、「広げようスポーツ 興そう瀬戸内」をスローガンに、第26回町民体育大会が清水公園陸上競技場で開催されました。「スポーツの秋」に相応しい秋空の下町内7地区にわかれた選手たちは、地区民の期待を背に、34種目で練習の成果を発揮し、大会を盛り上げました。



今年も、「東方」チームが優勝し大会4連覇を達成。「実久」チームは4年

第26回町民体育大会

連続準優勝、3位には「鎮西・請・与路」チームが入賞、「古仁屋西」チームが特別賞を受賞しました。



奄美豪雨災害

瀬戸内災害状況
奄美地方は10月20日停滞した前線の影響で猛烈な雨に見舞われました。県の雨量データによると、降り始めの18日午後から21日午後9時までの総雨量が古仁屋で386mmに達し、その影響で、町内29箇所でがけ崩れが発生、床上浸水14、床下浸水75、ピーク時には、電話回線全世帯不通、嘉徳集落が孤立しました。幸いにも人的被害は発生せず済みましたが、携帯電話も不通になるなど、通信インフラの崩壊で、被害状況の把握や安否確認の遅れなどが発生し、不安な日々を過ごす人たちが多数でした。



災害義援金を募っています
奄美豪雨災害義援金口座
鹿児島銀行瀬戸内支店
普通 684197
口座名 瀬戸内町豪雨災害義援金 町長 房克臣

1月4日(火) 瀬戸内町成人式

広報せとうち(2)

せとうちちょう 議会だより

第139号

平成22年11月発行

発行／鹿児島県瀬戸内町議会 編集／議会報編集委員会 〒894-1592 鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋船津 23 番地



～ 決算審査特別委員会での審査風景（委員会室にて）～



第3回(9月)定例会

- ★こんなことを決めました……………P4～5
- ★一般質問(6名が登壇)……………P6～11
- ★委員会活動……………P11～14
- ★県へ意見書提出、編集後記……P14

こんなことを決めました

第3回定例会は、9月7日～17日までの11日間の日程で開かれ、補正予算議案7件、条例議案4件、契約議案1件、諮問などその他6件、決算議案12件の計30件の議案を審議し、可決しました。

特に平成21年度各会計決算議案については、議長及び議員選出監査委員を除く8名で構成する決算審査特別委員会（委員長 向野 忍、副委員長 鎌田愛人）を設置して審査を行い、最終本会議において委員長から審査報告がなされ、賛成多数で認定されました。

（各会計決算状況及び主な議案の要旨は次のとおりです。）

一般会計 3億8,367万3千円の黒字・特別会計 9億7,049万円の赤字

平成21年度決算

5特別会計で赤字決算

平成21年度各会計決算状況は下記のとおりです。

（単位：千円）

区 分	歳入総額 A	歳出総額 B	差引 C (A-B)	繰越財源 D	実質収支 C-D	
一 般 会 計	8,485,015	8,097,775	387,240	3,567	383,673	
特 別 会 計	老人保健	14,128	14,128	0		0
	国保事業	1,534,035	2,255,241	△ 721,206		△ 721,206
	国保直診	27,145	23,470	3,675		3,675
	後期高齢者医療	112,862	112,503	359		359
	巡回診療	248,740	348,208	△ 99,468		△ 99,468
	介護保険	1,275,811	1,256,417	19,394		19,394
	と畜場事業	2,580	2,580	0		0
	船舶交通事業	289,846	391,288	△ 101,442		△ 101,442
	上屋事業	4,039	1,235	2,804		2,804
	農業集落排水	32,898	31,442	1,456	6,800	△ 5,344
	簡易水道事業	230,462	289,724	△ 59,262	10,000	△ 69,262
	計	3,772,546	4,726,236	△ 953,690	16,800	△ 970,490
総計（一般会計＋特別会計）	12,257,561	12,824,011	△ 566,450	20,367	△ 586,817	

（単位：千円）

水道事業会計	収入総額 A	支出総額 B	差引 C (A-B)
収益的収支	155,173	150,642	4,531
資本的収支	0	43,707	△ 43,707



- 町当局へ8項目に亘る決算審査意見を提出 -

1. 自主財源の確保を図るために、町有地等の未利用地の早期売却、貸付等を積極的に進められるとともに、新たな目的税等の導入に向けて努力されたい。
2. 国・県からの各種雇用経済対策交付金の使途については、将来において雇用創出等が図られる事業に活用し、地場産業の育成に努められたい。
3. イノシシ、カラス等の捕獲奨励金を増額し、駆除の徹底を図られたい。
4. デイゴヒメコバチ等、病害虫駆除を徹底するとともに、松くい虫被害木による二次災害等の防止を図るため、関係機関と連携を密にして万全の措置を講じられたい。
5. トラクター使用手数料について、農家等に周知徹底を図り、円滑なる利用を促進し、農畜産業の振興に鋭意努力されたい。
6. 景気対策・地域経済の活性化を図るため、更なる公共事業の導入と企業が新たな産業へシフトできるような情報提供等に特段の努力をされたい。
7. 農業集落排水事業会計の健全化に向けて、県営住宅の加入促進について強力に折衝されたい。
8. 我が町の沿岸漁業の衰退ぶりは、近年著しいものがある。漁業従事者の後継者育成・種苗存続のため、補助事業、支援事業の特段の充実を図られたい。

船舶交通事業の健全な運営を図るために必要な調査審議を行うことを目的とする船舶交通事業運営委員会を設置するものです。

船舶交通事業運営委員会条例の制定

選挙管理委員に
保 秀男氏
川島 國彦氏
花立 弘子氏
加納 良三氏
選挙管理委員
補充員に
加藤 文嗣氏
三島 茂彦氏
宮原 省吾氏
福田 久美氏
が当選

一般会計補正予算 (第3号)

積立金に3億8367万円補正

主な内容は、財政調整基金積立金2億8367万円、地方債管理基金積立金1億円、辺地共聴施設整備事業1140万円、ハブ買上金800万円、枯松支障木除去2000万円、子牛セリ出荷対策見舞金74万円、手安ハリポート舗装440万円、古仁屋市街地線道路舗装6500万円、魚醤製造用備品購入70万円などです。

総額5億1132万円を追加しました。

高野 洋志氏
を人権擁護委員に
推薦

個別外部監査契約に基づく監査

第三者による個別監査を実施

(農業集落排水事業)
農業集落排水事業の会計は、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき算定された資金不足比率が、経営健全化基準(20%)を超える43.9%となつたため、専門的な第三者による個別外部監査を実施するものです。

資金不足比率とは

資金の不足額が、事業の規模(事業収入)に対して、どれくらいの割合かを判定し、経営状況の悪化の度合いを示すものです。この比率が高いほど、経営に問題があることとなります。

一般質問

第3回定例会では、6名の議員が町政全般に亘り、議論を交わしました。一部を要約して、紹介いたします。

なお、一般質問の詳細については町立図書館にて「会議録」をご覧ください。



林 健二議員

議員 町長のマニフェストの進捗状況について

就任後3年間における達成状況と、残り任期の取り組みについてお尋ねいたします。

町長 一部についてのみの説明ですが、情報基盤整備として町内全域のブロードバンド化を図り、住民サービスとしては庁舎内に「総合案内」の設置や清水運動公園に桜公園を整備しました。生活環境対策としては、与路島に小型焼却炉を整備し、観光の振興については山田洋次監督をはじめとする12名の観光大使

を任命しPR活動を推進しました。行財政改革については、集中改革プランに基づき義務的経費の削減に努めました。

残りの任期については、国の動向や社会情勢の変化に対応しながら「長期振興計画」に基づいた町政運営を行います。

また次期町長選については、町民が受け入れてくれるのであれば立候補したいと考えて居ります。

議員 観光振興について
これまでの取り組みの成果と、今後、観光関連施設の整備計画があるかお尋ね致します。

町長 大都市圏での物産展の開催や、各種イベントのPR活動を行うと共に、各郷友会の協力を得ながら交流人口の増に努めて参ります。

した。

本町への観光客の入り込みは微増であります。

施設整備につきましては、廃校跡地利用計画を視野に入れ検討します。

議員 ワークシェアリングについて

雇用の創出・維持を目的とする役場レベルでのワークシェアリングの検討・研究はされているかお尋ねいたします。

町長 外部委託契約や臨時職員でも可能な職種の拡大など、今後事務改善審議会で検討・研究し、雇用の創出に努めてまいりたいと思っております。

議員 消防団・自主防災組織の強化について

非常備消防・自主防災組織の強化についての具体的

施策はあるのか、また近い将来瀬戸内町開催予定の、消防操法大会の準備はどのように進めるお考えなのかお尋ね致します。

町長 消防団については、130名の定員数を確保しながら、今後もこの体制を維持して参ります。自主防災組織の強化については、すでに結成された55地区と同様に、未結成地区の組織化に向け努力します。

消防操法大会については、選手の強化、円滑な大会運営に向けて努力すると共に、新たな小型ポンプの導入も検討したいと思っております。



代替えが望まれる旧式小型ポンプ



中村義隆議員

議員 ヤギ特区について

鳥獣保護法に基づき、野ヤギを有害鳥獣から狩猟期間中に捕獲できる「狩猟鳥獣」に指定するよう答申しましたが、その後の概要をお尋ねします。

町長 今年1月に内閣官房地域活性化統合事務局による「特区認定」の再検討において、奄美の「野ヤギ特区」が有力との報道がなされ、銃による効率的で安全な駆除へ多いに期待しているところですが、現段階で年度内の狩猟実施は確定ではありませんが、特区認定の

可能性はかなり高いと聞いております。

議員 新聞を読んで

デイゴヒメコバチの被害とクロマダランソテツシジミが加計呂麻島で大量発生しているようですが、その害虫駆除と対策についてお尋ねします。

町長

諸鈍デイゴ並木については、平成20年に害虫駆除事業を実施し、ある程度の効果がありましたので、本年7月にも同様の駆除を実施しました。諸鈍デイゴ並木以外の樹木につきましては、本年9月6日付で県の地域振興推進事業の交付決定の内示がありましたので、駆除や伐倒を行う計画をしております。

ソテツの害虫被害対策については、県森林総合センターを中心に試験を行った

結果、トレボン乳剤の効果が確認され、農薬登録されましたので有効に活用してまいりたいと思います。

議員 福祉行政について

高齢者の肺炎予防に有効とされる「肺炎球菌ワクチン」の接種費用を助成する動きが奄美の自治体でも広がっていますが、本町でも助成の検討はできないものか伺います。

町長

このワクチン接種は、日本では保険適用外であり、先進国と比べ接種率が低い状況であります。世界保健機構の推奨を受け、公費助成を実施する自治体が増え、奄美では4自治体の実施し、3自治体が取り組みの方向で検討していますので、本町でも機を失うことがないように取り組んでいきたい

と思っております。

議員 家庭で眠っているタオルやハンドタオルなど集めて学校や福祉施設に贈る「友愛タオル」を老人クラブや地域女性団体連絡協議会、地域子供会に呼びかける音頭はとれないものか伺います。

町長 各家庭で使用されずにいるタオル等を募り福祉施設等へ寄贈し利用することとは、資源の有効利用の観点からも望ましい方法の一つだと思しますので、需要があれば関係課、関係団体と協議のうえ検討してみたいと思います。



～議会を傍聴しませんか～

次回の定例会は12月に行われます。どなたでも傍聴できますので、

お気軽に議会事務局へお問い合わせ下さい。(72-1072 直通)



鎌田愛人議員

議員 教育行政について

一、教育関連施設である、中央公民館、学校給食センター、古仁屋小学校体育館も含めた、瀬戸内町教育施設建設検討委員会(仮称)を設置する考えはないか。

校給食センターの建設に向けたスケジュールは。

社会教育課長 中央公民館

については、平成25年度工事着工、26年度供用開始予定であります。

教育委員会総務課長

学校給食センター建設は平成26年度以降の予定であります。



築31年が経過し、老朽が目立つ学校給食センター

議員 雇用対策について

一、公共事業の来年度以降の県・町の新規事業の実施予定は。

町長 県においては、急傾斜地崩壊対策事業(西古見)、(篠川地区)の2カ所と砂防事業(芦瀬地区)の3カ所、町については、町道阿木名・伊須・蘇刈線1カ所が新規事業実施予定であります。

また、大島支庁瀬戸内事務所へ県道名瀬・瀬戸内線(久根津・須佐礼)(古志・久慈)、篠川・下福線(篠川・深山)の3路線について要望書の進達をしているところあります。

議員 二、国の緊急雇用創出事業臨時特例基金事業を活用した、緊急雇用対策のこれまでの実績は。

町長 21年度は3事業において雇用者数31人。22年度は観光景勝地伐採整備、農道環境整備、町道等環境整備、緊急農業支援、人材育

成事業(山ガイド養成事業)、新規就農支援事業などで雇用者数42人を予算計上しております。

議員 三、伐採以外に他のメニューは上がってこなかったのか。

まちづくり観光課長補佐 他の計画は上がってきませんでした。

議員 町長の政治姿勢について

新集中改革プランの策定にあたり、民間の委員からなる、瀬戸内町行財政改革推進委員会を活用しなかったことに対する町長の見解は。

町長 プランの骨格は集中プランを五年間延長した内容でありますので、行財政改革推進委員会の活用を見送った次第であります。今

後の策定につきましては町民の意見を広く聞いて対応したいと思っております。
*その他の質問

●学力向上について(全国学力テストへの対応とその結果について・大規模校への特別支援教育支援員の増員と習熟度別指導体制の確立について)

●町長の政治姿勢について(加計呂麻島の森林伐採について)



岡田弘通議員

議員 共生協働の町づくりについて

経済活性化(仮称)等の戦略会議を設置すべきと思うがどうか。

町長 本年度から大島支庁

による奄美地域経済活性化戦略会議が瀬戸内地区でも開催されることになり、若手経済人や役員職員等を構成メンバーとして、地域の将来ビジョンの実現に資するための会議を行うことになっております。

この戦略会議での提言等を踏まえて、実施可能な事項について施策を講じていきたいと考えています。

議員 建設業者の経営基盤強化対策の取り組み状況について伺います。

町長 8月18日に大島支庁

瀬戸内事務所建設課・町企画課・建設業協会との間で今後の年間3回の勉強会のスケジュールや実施時期等について、素案の協議をしていくつもりであります。

議員 農業の振興について

一般農家や老人クラブ等への農業支援体制は充分に行っているのか。

町長 昨年の実績としましては、出前講座要望集落を

対象とした講習会を2回、直売所や高齢者、女性生活研究グループを対象とした園芸栽培講習会を年3回程開催しております。今後は、高齢者の生きがい農業や女性向け趣味の野菜作り等に対応する為の講習会を県やJAと連携を執りながら開催回数を増やしていきたいと考えております。

議員 公共事業の推進について

国・県の公共事業の推進を図るため、町としても用地対策職員等の増員などを行い、県と協力して公共事業の円

滑な推進を図り、雇用の確保と地域経済の下支えを図るべきと思うが考えをお伺いします。

町長 用地対策職員の増に

つきましては、「行財政改革」や「集中改革プラン」等において、職員の定員管理の適正化に努めており、厳しい案件ではありますが、郷友会との「協定書」締結後、その動向等も踏まえながら、検討して参りたいと思います。

議員 社会体育施設の整備について

屋内ゲートボール場「清水運動公園」とグラウンドゴルフ場をホノホシ園地への整備はできないものか伺います。

町長 屋内ゲートボール場

の整備促進については、現

時点におきましては、大変厳しい状況にあるものと思えます。グラウンドゴルフ場のホノホシ園地への整備につきましては、今後、関係課と協議を進めてまいりたいと思います。

議員 共生協働の町づくりについて

各集落の担当職員配置の取り組み状況について伺います。

町長 10月から来年3月ま

でを試行期間とし、64の行政区に68人の地区コミュニティ職員を配置し、共生・協働のまちづくり推進に向けた活動を実施することとしています。



岩井義照議員

議員 本町の将来像について

房町政が誕生して3年余りが経過していますが、房町長はどのような町にしたいのが見えますか。町長の将来像をお聞かせ下さい。

町長 マニフェストの一部

についてご説明します。情報関連では町民への情報提供として、町長政務報告の配布。2カ年前倒しでの町内全域のプロードバンド化を図りました。住民サービスとして庁舎内に『総合案内』を設置するとともに職員への接遇研修として中期待しているつもりです。生

「活環境対策として特定離島ふるさとおこし推進事業を活用して与路島に小型焼却炉を整備しております。又、本町のトップセールスマンとして町長就任後山田洋次監督はじめ観光大使12名を任命して全国へPR活動を推進してまいりました。

議員 町長は住民参加の町を基本理念として、「対話と協働」、「情報の共有化」、「住民主体の政治」、「ガラス張りの行政運営」の標榜を掲げています。それぞれの実績と効果を具体的にお願いします。

町長 昨年10月には「地区コミュニティ再生事業」を開催し、豊重哲郎氏を講師に講演会を開催、町民に対して共生協働の町づくりの啓発を行いました。

今年10月から共生・協働の町づくりを目指して「地

区コミュニティ職員」を配置し、共生・協働(自助・共助・公助)の精神を啓発しながら住民自治を活かした町づくりを推進してまいります。

議員 これらの標榜を実現達成するためには、職員の強力無しでは成し得ません。職員のやる気をどう促しておられるのか伺います。

町長 職員のやる気を促すには、職員の仕事に取り組みやすい環境を整え、職員の意見を取り入れていくことが重要であると考えております。今後は職員の意見に適切に対応し、仕事に取り組みやすい環境を整えてまいります。

議員 **農業政策について**

①本町の農業政策を具体

的にお願いします。

②農家が行政に強力に押し進めてほしいものは何ですか。

③農地法が昨年の12月に改正されました。今後の農業委員会の取り組みや荒廃地対策をお聞かせ下さい。

町長 ①今後は、サトウキビ生産農家の掘り起こしを行い、重点品目であるカボチャ・花き・果樹を推進して鳥獣被害防止対策に努めてまいります。

②耕運と地力対策については、農業を営む大事な項目であると認識しており、特に土作りとは、好適な生産基盤条件を作り出すことにあります。このようなことから、肥料、資材の適正施用によって、地力の増進と環境保全の推進を図りたいと思います。

③昨年12月に改正された

「新しい農地制度」は、農地を貸しやすく、借りやすくし、農地の効率的な利用を図ることを目的としています。農地の確保のための「遊休農地」の確認を行っており、確認後には所有者等へ、自作か貸借かの意向確認を行い、遊休農地の有効活用を図ってまいります。また、調査時に嘱託員等への新制度の内容説明を行い、「新しい農地制度」の周知を図っているところであります。



安 和弘議員

議員 **企業誘致と自然保護の相関関係について**

企業誘致に関してつきまとうのは、自然との調和、周

辺環境への影響をも含めた住民感情の問題等であります。企業誘致が頓挫した例をこれまで幾度となく目の当たりにしてきました。どちらか大切なことは申すまでもありませんが、町長はどのように捉えておられますか。

町長 進出企業と環境問題は、十分に審議・検証していく必要があると考えております。観光や地域の特性・特産品等を活かした産業で、持続可能な社会を構築することが理想ではありますが、観光や世界自然遺産等の事業だけで多くの町民が生活していける訳ではありません。環境と経済が両立できるようバランスをとりながら、本町に即応した企業誘致を進めたいと考えています。

議員 進出を計画していた

加計呂麻チップセンターが、一時撤退を余儀なくされましたが、旧住用村の山間では計画が進行中と聞いております。又、そこでのチップ材の原木をカケロマから搬入するとの話が聞こえ、町に反対の立場で介入してほしい旨の話も聞かれます。そういうことが出来るものですが、伺います。

町長 町としては、伐採に対する許認可権もなく、賛成や反対の立場で町が介入することはありません。

議員 **漁業振興について**
最近目に見えて魚が少なくなりました。どの漁師に聞いても「魚が少なくなってきた」という言葉がかえってきます。自然を相手に漁をする漁師にとっては、生活に直結する問題であり、セリに関わる人々、タナで生計を立ててい

る人達にとっても死活問題につながるものであります。漁業従事者の高齢化、それに伴う後継者の育成の問題も含め、当局としても漁協と話し合いの場を持たれてはと思いますが、いかがなものでしょうか。

町長 漁協において本年度より「漁業の担い手確保・育成対策事業」を導入し、後継者育成への取り組みを行っている聞いております。既存漁業の推進を図るうえからも漁協との話し合いの場を積極的にに行い連絡を密にしながら、後継者の育成等漁業の振興に努力して参ります。

議員 松くい虫の被害倒木が、海岸線から流出し、養殖業の網、漁船、一般船舶の航行に支障を来していること聞きます。お聞きになったこ

とはありませんか。又、離島漁業再生支援事業の総額と事業内容についてお尋ねします。

町長 松くい虫の被害木の流木による養殖施設や船舶への大きな被害の報告はありませんが、町及び関係機関による協議を行い対応策を検討しているところであります。離島漁業再生支援事業の全体事業費は5440万円で、主な内容は、種苗放流、産卵場の整備、オニヒトデ・サメの駆除、加工品開発研究等であります。



海岸線への流出被害が懸念される松くい虫による被害木

委員会活動

第3回（9月）定例会では、総務経済常任委員会（向野 忍委員長）、文教厚生常任委員会（鎌田愛人委員長）に付託されていた案件に対しての委員長報告がなされました。

（要旨は次のとおりです。）

総務経済常任委員会

所管事務調査

『行財政改革（ワークシェアリング）に関する調査』

本町における雇用体制改革に対するあらゆる可能性を探るべく、各々の労働時間を短縮し雇用数を増やすという「ワークシェアリング」を取り入れている大分県東国東郡姫島村の視察調査を行いました。

姫島村は、国東半島の北側に浮かぶ周囲17キロ、面積6.85平方キロメートル、人口約2500人の沿岸漁業と車えび養殖を主な産業とする一島一村の村であります。

姫島村の「ワークシェアリング」は、昭和40年前半に過疎化、人口減対策として若者を村に残すための取

り組みとして始められ、村内最大の雇用体である役場は、「官」が出来ることは「官」がやるという方針のもと、「職員の給与を低く抑えて、出来るだけ多くの職員を雇用する」という雇用施策をとっております。

役場の職員数は、195人で人口13人に1人の割合となっており、類似団体の人口53人に1人の割合と比較しても分るように多くの職員を雇用しております。

職員の約7割が村営フェリ、診療所、高齢者生活



姫島村を調査する総務経済委員

福祉センター等の現場の職員で、最近では、更に多くの人を雇用する手段として、主に主婦を対象に月3分の2の勤務日数で、給与も3分の2とする雇用形態もとっているとのことでありました。

姫島村の給与水準（ラスパイレズ指数）は、73.7で、北海道夕張市（68.8）に次ぐ全国で2番目に低い水準であります。

しかし、低い給与でも村内の農協、漁協等と比較すると役場職員は高い方であるとのことでした。

財政状況は、基金が一般会計予算と同程度の約20億円と高く、毎年1億円程度積み立てている。また、国保会計が黒字となっているなど全国的にも類を見ない優良な財政状態でありました。

委員から「なぜ、これほ



姫島村が独自に運営しているケーブルテレビ局

どの基金を積み立てることが出来たのか。また、国保会計が黒字である要因は何か。」との問いに、「これまでに離島振興法、辺地法、過疎法の適用を受け、村民の生活の向上と社会資本の充実に力を注いできたが、

決してムリをせず身の丈にあった施策と有利な事業選択等を行ってきたことが、基金積み立てに結びついている。国保会計については、姫島方式といわれる保健・医療・福祉の連携「地域包括ケア」を国保診療所を核として行ってきたことが黒

字に繋がっている」とのことでありました。

「ワークシェアリング」は、本町の「新集中改革プラン」における職員の定員管理・給与等の適正化とは対極にあり、姫島村の施策をそのまま、本町には持つてくることは出来ないが、考え方や住民と協働での取り組み方は大いに参考になるものであります。

以上で調査を終了し、次の意見を町当局へ提出しました。

『行財政改革(ワークシェアリング)に関する調査』意見

- 一、実効性ある行財政改革推進及び地域活性化施策実現のため、職員の意識改革に更に努力されたい。
- 二、地場産業の振興・育成及び雇用の場の確保にあらゆる可能性を見出すべく取り組みたい。

文教厚生常任委員会

所管事務調査

『小規模校における教育環境に関する調査』

町内小中学校における小規模校の現状を調査把握し、学校規模適正化及び小規模校特別認可制度を活用している県内先例地の調査を行い、本町の小規模校における教育環境の充実を図ることを目的に調査を行いました。

まず始めに、特認校制度を取り入れ、小規模校における教育環境の充実を図っている、いちき串木野市の荒川小学校を調査しました。特認校の概要としては、「山間部や沿岸の恵まれた自然環境の中にある小規模校の特性を生かして、個に応じた体力作りや学ぶ楽し



荒川小学校を調査する文教厚生委員
員（いちき串木野市）

さを体験させ、思いやりの心に満ちた子どもを培いたいと希望する保護者・児童に一定の条件のもと、通学区域を越えて、入学・転学を認め、地域や学校の活性化を図ろうとするものです。」

なお、入学・転学の制限として、新規申込の場合、特認校への入学・転学を許可することにより、現住所地の通学区域の学校において、対象学年が学級減になる恐れが生じた時には、許可しない場合もあるとのことでした。

市の特認校支援策（児童の通学送迎に係わる予算）は、中学校とのスクールバスの合同利用とタクシークラスターの送迎で、平成22年度は約220万円の予算となっており、スクールバスの時間帯については、登校の際は中学校と合同利用で、下校時は小学生を先に送り、その後中学生を送るとのことでした。

学校側の取り組みとしては、校長とPTAが個別に家庭訪問を行ったり、平日に親子で体験入学などする中で、荒川小学校のネームバリューを高め、学校の特色を宣伝したとのこと。成果として、平成12年度学級数3、児童数10人であったのが、22年度においては、学級数6、児童数54人と児童数の推移からしても大きな成果が見られました。次に、中学校の統廃合を

行い、本年4月より統合中学校を開校させている、垂水市の教育委員会と垂水中央中学校を調査しました。

統合にいたる経緯としては、平成13年度に市議会と市内小中学校長による勉強会において、「まず中学校を統合し、その他の小学校の統合を進める」という意見の一致をみる。その後、推進委員会、準備委員会、地区別協議会において検討・協議した結果、目標年度を21年度としたが、説明責任を果たすための周知期間が必要とのことから、目標年度を22年度に変更する。19年12月定例会で、垂水中学校の廃止及び統合についての議案が可決され、中学校統合が正式決定した。また、スクールバスについては、車両を含めた全業務を委託し、土曜、祭日も運行することとした。



垂水中央中学校を調査する
文教厚生委員（垂水市）

統合による成果としては、各学年において楽しい学校生活を送っているというアンケートの結果が見られ、要因として部活動が活発になったことが挙げられました。

学校跡地の活用については、学校施設等の民間への貸与、譲渡も視野に入れて検討中であるが、具体的な話になっていないとのことでした。

以上で「特認校制度について」、「中学校統廃合について」の調査を終了し、次の意見を町当局へ提出しました。

『小規模校における教育環境に関する調査』意見

- 一・小規模校においての集合学習や交流学习の内容の充実と回数が増えられた。
- 二・小学校の小規模校の存続対策として、特認校制度のモデル校を選定し、研究されたい。
- 三・加計呂麻地区の中学校規模適正化については、推進されているが、本島側の中学校規模見直しについても、早急に検討されたい。

『認可外保育園かな保育園への公的助成を求める陳情』を採択

文教厚生委員会では、陳情の提出者である、かな保育園の調査を行うと共に、認可外保育園と認可保育園との比較を行うために、町立高丘保育所の調査も行い

ました。

また、担当課の町民課からも聞き取り調査を行いました。

以上の調査を踏まえた結果、『かな保育園では、0歳児保育や共働きをしなければならぬ家庭、里帰り出産などの緊急時の幼児の受入れを行っている。そのことからして、町としても新たな施設整備や保育士の増員などの必要がなく、少子化対策、子育て支援の観点からして大事な施設である。』との意見が出され、全会一致で採択と決定しました。



かな保育園を調査する文教厚生委員

町民生活の安定と産業振興発展のため

— 県へ意見書を提出 —

第4回臨時会が10月5日に開催され、補正予算など議案3件を可決しました。また、町商工会と漁協より提出されていた「県道名瀬瀬戸内線・曾津高崎線の整備に係る意見進達についての陳情」を採択するとともに、議員発議において、町民の生活安定と産業・経済の振興発展のために極めて重要な下記事項の早期実現について、大島支庁瀬戸内事務所長宛て意見書を提出しました。

県道名瀬瀬戸内線・曾津高崎線改良事業の早期実現に関する意見書

1. 奄振事業費が前年度比29%減額されるなど、公共事業費の大幅な削減が実施されているが、奄振予算を復元し、県道名瀬瀬戸内線・曾津高崎線等の道路関係予算を確保すること。
2. 産業振興、交通安全対策、高齢者対策の面からも上記路線等の早急な整備を実現すること。
3. 社会資本整備を計画的に促進し、道路、農業、漁業等の事業が滞りなく執行できるよう、必要な予算総額を確保すること。

編集後記

10月20日の記録的な豪雨では、河川の氾濫、土砂崩れ等により3人の方が犠牲になり各地で多大な被害をもたらしました。

道路や電気・電話回線等が寸断される中、奄美市の「あまみエフエム」が24時間生放送で情報を発信し、避難所で不安を募らせる住民の方々に勇気づけたとの新聞報道がありました。

代表の麓さんが最も重視するのが「市民に安心を提供すること」とおっしゃっていました。

今回の災害では、情報(リッソ)の大切さを再認識させられました。スタッフの皆さん、本当にお疲れ様でした。(吉見)

議会報編集委員長 向野 忍

副委員長 鎌田 愛人

委員 堯 文俊

岡田 弘通

林 健二

吉見 洋和

お知らせコーナー

★ 町営住宅入居申込の期間についてお知らせ ★

現在まで、一定期間のみの入居申込受付を行ってきましたが、12月より随時入居申込を受け付けることとなりました。

ただし、入居待機順位は、現待機者の最後位とし、有効期限は、次回の入居募集公募のときまでとなります。

【問合せ・申込み先】

町役場 建設課 住宅係 電話 72-1111 72-1197 (直通)

★ 平成23年度高丘保育所入所募集案内 ★

平成23年4月から保育所に入所を希望する児童の申込受付をします。

【対象保育所及び募集人員】

高丘保育所（120人）1歳児から就学前までの児童

【入所基準】（原則として本町に居住する者で、次のいずれかに該当する児童）

- ① 児童の親が家庭の外で仕事をしている。
- ② 児童の親が家庭で児童と離れて日常の家事以外の仕事をしている。
- ③ 死亡、行方不明、拘禁などの理由により親がいない家庭。
- ④ 親が出産の前（8週）、出産後（8週）、病気、負傷、心身障害の常態にある。
- ⑤ 親が家庭内の病人や心身障害を有する人の看護にあたる。
- ⑥ 家庭に自然災害などの不幸があり、その復旧にあたる間。
- ⑦ 町長が認める前号に類する状態にあること。

【提出書類】

- ① 保育所入所申込書
- ② 世帯の成人全員の就労証明書
- ③ 世帯の成人全員の課税証明書（平成22年度）
- ④ 世帯の成人全員の確定申告書写し、又は源泉徴収票（平成22年分）
- ⑤ 入所を希望する児童の健康診断書（新規入所のみ）
- ⑥ その他の証明証等（疾病、病人看護、出産「母子手帳の写し」）

【申込み期間】

平成23年1月5日（水）から2月10日（木）まで

【申込み・問合せ先】

町民課 児童母子係

72-1111（内線153）、72-1060（直通）

★ 災害にあったときの税についてお知らせ ★

地震、火災、風水害などの災害により住宅や家財などに損害を受けられた方には、次のとおり、納税の期限を延長したり、税負担を軽減する方法があります。

また、災害復旧資金の融資を受けるための納税証明書の手数料は無料になる場合があります。詳しくお知りになりたい方は、最寄りの税務署にお気軽にお尋ねください。

【申告などの期限の延長】

災害などの理由により、期限までに申告や納付ができないときは、税務署長に期限の延長を申請し、承認を受けることにより、その理由のやんだ日から二か月以内の範囲で期限を延長することができます。

【納税の猶予】

災害により損害を受けたため税金を納期限までに納めることができない方は、前述の納期限の延長のほかに、一定の要件の下で納税の猶予を受けられる場合があります（災害のやんだ日から二か月以内に申請することが必要です。）。

【所得税の軽減・免除】

災害によって、住宅や家財などに損害を受けたときは、一定要件の下、確定申告で①「所得税法」に定める雑損控除による方法、②「災害減免法」に定める税金の軽減免除による方法、のいずれか有利な方法を選ぶことによって、所得税の全部又は一部を軽減することができます。

【問合せ先】 大島税務署 電話0997-52-4321

★ 農業委員選挙人名簿登載申請について ★

選挙管理委員会では、毎年農業委員会委員選挙人名簿の調製を行っています。一定の要件を満たす方には世帯ごとに農業委員会委員選挙人名簿登載申請書を配布していますので、1月7日までに瀬戸内町農業委員会へ提出してください。

【該当者の要件】

- ① 23年1月1日現在、本町に住所を有する者
- ② 年齢20歳以上の者
- ③ 農業従事者該当者
 - イ・10アール以上の農地を耕作している者
 - ロ・イの耕作を営む者と同居の親族、または親族の配偶者で年間60日以上農業に従事している者

【問い合わせ先】瀬戸内町農業委員会 TEL 72-1119（直通）

瀬戸内町選挙管理委員会 TEL 72-2183（直通）

★ 製造事業者の皆様へ 工業統計調査のお願い★

平成22年工業統計調査を12月31日現在で行います。調査の実施に当たっては、本年12月から来年1月にかけて調査員がお伺いします。

なお、調査票に記入していただいた内容については、統計法に基づき秘密が厳守されますので、正確な御記入をお願いします。

【問合せ先】瀬戸内町役場 企画課 企画開発係 担当 北川・織地

電話 0997-72-1112（直通）

☆ 年末年始のごみ及びし尿収集について ☆

～年末年始のごみ出し方に注意を～

困ります ごみ出しのルール違反

年末の大掃除などで多くのごみを排出される時期となりました。地域住民から「回収後にごみが出されている」、「分別しないで捨てられている」といったマナー違反の通報も、役場に多く寄せられています。ごみを排出する際は、近所の方の迷惑とならないよう、ごみ出しカレンダーを良く見て、ルールを守って正しく出しましょう。

年末の収集終了後は、年始の収集開始まで収集を行いませんので、ごみを出さないで下さい。

1. 瀬戸内町の年末・年始のごみ収集日・搬入時間は次のとおりです。

日付	12月		1月			
	30	31	1	2	3	4
	木	金	土	日	月	火
ごみ委託収集	平常通り	休 み	休 み			平常通り
衛生センターへの搬入 (粗大・資源ごみ)	8:30～17:00		休 み			8:30～17:00
最終処分場への搬入 (燃えないごみ)	9:00～17:00		休 み			8:30～17:00

※最終処分場へのごみの搬入は、安定4品目（プラスチック・金属・ガラス・せともの類・コンクリート類）が直接搬入出来ますので、職員の指示に従い処分してください。

2. 瀬戸内町の年末・年始のし尿搬入日・搬入時間は次のとおりです。

日付	12月		1月			
	30	31	1	2	3	4
	木	金	土	日	月	火
し尿収集	8:30～17:00	午前中のみ	休 み			8:30～17:00

【問い合わせ先】生活環境課 72-1113 ・ 衛生センター 72-1973

☆ 町有墓地についてお知らせ ☆

現在、町有墓地を利用されている墓地の利用者（所有者名）の変更等がなされていないような状況にあります。

登録以後、所有者（管理者）の死亡、転出等により利用者（管理者）の変更が生じていることとしますので、変更等がある利用者は、届出をして下さるようお願いいたします。

【問合せ先】瀬戸内町役場 町民課 Tel 72-1060

☆ 第62回 人権週間 ☆

重点目標 みんなで築こう 人権の世紀
～考えよう 相手の気持ち 育てよう 思いやりの心～

期 間 平成22年 12月4日(土)～
12月10日(金)

「世界人権宣言」が昭和23年(1948年)12月10日の
国連総会において採択され、本年で62周年を迎え、全国各地
で人権に関する各種の啓発活動が実施されます。

この機会に、皆さんも身近なことから人権について考えてみ
ませんか。

瀬戸内町いじめダイヤル TEL0997-72-0995

両刃之劍
りようばのつるぎ
すぐれた情報・通信手段であるインターネ
ットや携帯電話も、使い方を誤れば人の心を
傷つける凶器となります。
モラルを守った利用を心がけましょう。
「人権読本 四字熟語に学ぶ」

☆ 加計呂麻地域塾からのお知らせ ☆

今年も大好評の「癒しの島のせとうちカレンダー」販売します

～町内写真や年中行事も掲載～

「もっと愛して加計呂麻地域塾」(池田啓一塾長)では、
癒しの島での田舎暮らしを幅広く知ってもらおうと、
これまで大好評であったオリジナルカレンダー
「癒しの島 せとうちカレンダー」を作成しました。

カレンダーには、これまで同塾が主催してきた「加
計呂麻フォトコンテスト」入賞作品のほか、町内での
年間の主な行事日程が掲載されています。

また、町外在住の方にも送料別でお送りしています。

瀬戸内観光協会(「海の駅内」)及び町内各所で、12月1日(水)から販売いたし
ます。

【お問い合わせ】役場企画課又は加計呂麻地域塾事務局 TEL72-3051



☆ 宝くじ助成事業(自主防災組織育成事業) ☆

総務課防災係は、節子防災会(自主防災組
織)の活動強化を図るため、平成22年度宝
くじ普及広報事業(コミュニティ助成事業)
を活用し、可搬式ポンプをはじめ、各種消防
資機材を購入し、節子集落へ配備しました。
初期消火に力を発揮するものと期待されます。

【問い合わせ先】役場総務課消防防災係



TEL 72-1111 (内線 178)

1月4日(火) 瀬戸内町成人式

広報せとうち(18)

12月 2010年(平成22年)せとうち情報カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
28 	29	30 	1	2 ☆遊びの広場 ☆脳の健康教室	3 ☆きゅら島3箇月評価(タラソ)	4 
5 	6 ☆きゅら島コツコツ	7 	8 ☆脳の健康教室	9 ☆遊びの広場 ☆3歳児健診 ☆元気パール ☆男の料理教室 ☆元気な笑顔教室(清水)	10 ☆精神デイケア	11 ☆でい~うもろー(俵)
12 	13 ☆きゅら島コツコツ ☆元気な笑顔(久慈)	14 ☆母子相談	15 ☆元気な笑顔(篠川) ☆脳の健康教室	16 ☆遊びの広場 ☆3箇月児健診(BCG) ☆	17 	18 ☆親子教室 ☆でい~うもろー(諸鈍) ☆青少年育成の日
19 ☆家庭の日	20 ☆きゅら島コツコツ	21 ☆母子相談	22 ☆元気な笑顔(嘉鉄) ☆脳の健康教室	23 天皇誕生日 ☆遊びの広場 ☆元気パール ☆男の料理教室 ☆終業式	24 ☆精神デイケア	25 ☆でい~うもろー(篠川)
26 	27	28 ☆仕事始め	29 	30	31	1 元日

○遊びの広場、きゅら島タラソ・コツコツ、脳の健康教室、母子相談、3歳児健診、元気パール、男の料理教室、元気な笑顔教室、精神デイケア、でい~うもろー、元気な笑顔3箇月児健診、親子教室の問い合わせは保健福祉課へ
○青少年育成の日、家庭の日の問い合わせは社会教育課へ問い合わせ下さい。
※ 日程は変更される場合があります。ご確認下さい。

☆医療機関・薬局の受診等にあたっての留意点☆

- 薬は飲み合わせによっては、副作用を生じることがあります。お薬手帳の活用などにより、既に処方されている薬を医師や薬剤師に伝え、飲み合わせに注意しましょう。
【問合せ先】瀬戸内町役場 保健福祉課 電話 72-1068 1月号へつづく

戸籍の窓



「お誕生・ご結婚・お悔やみ」は10月に届けられた分のうち、希望者のみを掲載しています。(敬称略)

お誕生



名前 保護者 住所

富田 愛彩 一正 古仁屋
池田 楓香 将司 古仁屋
重田 都雲 真二 油井
永井 栞那 卓士 古仁屋
杉浦 聡太 克彦 古仁屋
芝田 真輝 浩 嘉鉄
豊原 希色 竜一 古仁屋
山下航太郎 直樹 大阪市

お悔やみ



氏名 年齢 本籍

山 道夫 75 古仁屋
増田 莊有 88 勝能
浜畑 信彦 83 勝浦
富田 トキ 98 渡連
福田 義輝 76 武名
新田 シエ子 86 古仁屋
与倉 正一 98 阿木名
芳田 光春 81 与路
高 田貫 83 古仁屋
田中クメ子 81 瀬武
信島那智子 78 与路
森 江美子 80 嘉徳
近藤 直郁 43 広島県
時永 節子 82 網野子
山田 清二 71 瀬武

ご結婚



名前 本籍

榮 博也 諸数
東原 理沙 清水
樋口健太郎 新潟県
有本麻依子 栃木県
玉利 涉 節子
内 久美子 奄美市

香典返し(社協へ)(10月分)

(遺族) (故人) (住所)
起田 初子 継央 油井
与倉利律子 正一 阿木名
芳田トシ工 光春 与路
合計金40,000円也

奄美豪雨義援金

(氏名) (住所)
連合奄美 奄美市

瀬戸内町ふるさと応援基金

(氏名) (金額) (住所)
茂村 利隆 一万円 大阪市

広報紙郵送料

(氏名) (住所)
時永 康広 五千円 高槻市
沖 秀広 一万円 大阪市
福島 道治 五千円 さいたま市
ありがとうございました。

探しています！

ヤマトプロテック株式会社が製造したエアソール式簡易消化具で、製造工程上の不具合が原因で容器の腐食が進行し、破裂事故に至る可能性があり、自主回収を行っています。

【対象】2005年以前製造の「FMボーイK」「ヤマトボーイK」 ヤマトプロテック(株)
【問合せ先】お客様窓口 Tel 0120-801-084

ねんきん コーナー



年金キャラクター
「もくもく」

保険料はきちんと納めましょう！

年金は、世代と世代の支えあいの制度です。あなたの納める国民年金保険料が、高齢者世代の生活を支えています。また、同時にあなたや家族が将来年金を受取ることができるよう国民年金保険料は忘れず納めましょう。

国民年金の給付には、老後の生活保障である老齢基礎年金だけでなく、思わぬ事故等により障害が残ったときには障害基礎年金、生計を維持している人が亡くなったときには残された妻や子に遺族基礎年金が支給されます。

国民年金保険料を納付期限までに納めなければ、このような年金給付を受けられないことがあります。

国民年金保険料は日本年金機構から送付される「納付案内書」等により、毎月の保険料を翌月の末日までに納めていただくことになっています。

納付書がお手元にならない場合には、再発行いたしますので、年金事務所及び町役場町民課国民年金係までご連絡ください。

お問い合わせ先

奄美大島年金事務所

0997(52)4341

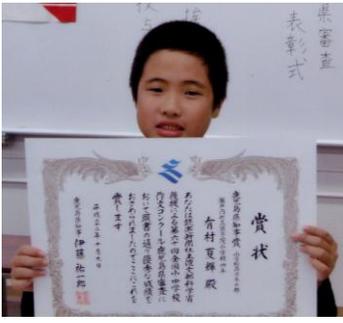
県知事賞受賞

小学校作文コンクール県審査で、

9月25日、第60回全国小・中学校作文コンクール県審査会が鹿児島市中央公民館で行われ、小学校高学年の部で須子茂小4年有村夏輝君の「めざすは、島うた名人」が最優秀賞の県知事賞に選ばれました。

全校児童5名の小さな学校から出品した作品が、応募62校・202点の県代表として、東京の中央審査に出品されます。

(授業の一環として習った島唄を通し、地域との交流や文化継承への決意を作品に)



賞状を手に 有村君

経営基盤強化研修

新分野進出を目指して、

10月8日、せとうち物産館で建設業経営基盤強化研修会が行われました。

県、町では、経営を安定させるため、異業種への参入を支援しており、研修会では、農業へ参入する場合には、制度紹介、既に参入している企業の取り組み事例の発表と、牛肉加工販売等を手掛ける(株)力ミチク、上村昌志氏が「現状と今後の取り組みについて」と題した講演会を行い、「事を成す人は出来るかもと可能性から入る。ピンチをチャンスにすれば可能性は広がる」と話しました。



説明を受ける参加者

畜産農家表敬訪問

口蹄疫への対応感謝、

11月4日、瀬戸内町農業振興会・肉用部会(40農家栄章一会長)の代表が、表敬訪問に訪れました。

肉用部会の代表は、4月に宮崎県で発生した口蹄疫発生時の町行政の迅速な対応(薬剤配布、肥料代助成、見舞金支給)に感謝し、口蹄疫が収束したことで、安心して経営に臨む事ができ畜産の町として、質の高い肥育牛生産に努めたいと抱負を語りました。



お礼に訪れた肉用部会代表者

マグロを語ろう

マグロ養殖シンポジウム、

10月15日、16日、クロマグロ養殖40周年を記念したシンポジウムが町中央公民館で行われました。

15日は、「持続可能なマグロ養殖を目指して」(近畿大学主催)をテーマに国内外から研究者や養殖業者ら127人が参加、各国の取り組みの発表や意見交換を行い、16日は、「マグロを語ろう」(町・町漁協主催)をテーマに養殖をしている産・官・学4団体の代表が現状と課題を発表しました。



発表を聞く関係者一同

福祉巡回車

善意の寄贈、

11月5日、鹿児島県生命保険協会から瀬戸内町社会福祉協議会へ福祉巡回車の贈呈式が行われました。

鹿児島県生命保険協会は、毎年地域貢献活動の一環として市町村社会福祉協議会へ福祉巡回車を寄贈しており、昨年度の宇検村社協に続いての寄贈となります。贈呈を受け、徳永会長は「遠距離集落が点在し、訪問を心待ちにしている状況。在宅福祉の充実に活用したい」とお礼の言葉を述べました。



福祉車を前に関係者一同

小学生陸上記録会

自己新を目指して、
10月13日、第26回瀬戸内町小学校陸上記録会（瀬戸内町小学校体育連盟主催）が、清水運動公園陸上競技場で行われました。

町内の15校が参加し、100m走・800m走・走り高跳び・走り幅跳び・60mハードル・400mリレー・男女混合リレーソフトボール投げの種目に挑戦しました。

参加選手は、5・6年生を中心に各学校からの選抜選手で、クラスメイトや教職員、保護者の応援を受けながら練習の成果を発揮しました。

記録会の後は、全校対抗の大縄跳び大会が行われ、町内児童の親睦を深めました。



ハウスクリーニング

清掃前	完了	
		<ul style="list-style-type: none"> ・換気扇 ・台所、浴室 ・トイレ ・窓ガラス。他
(有)瀬戸内ビルシステム 代表取締役 重村 太三 瀬久井 080-1540-3614		

編集後記

天災は忘れた頃にやってくるといいますが、今回の奄美豪雨の雨量には驚かされました。県の試算によると「100年に1度」とされる雨量のほぼ倍に達していたと云います。この災害を教訓に、日頃から防災意識を持ちたいものです。

シャープ太陽光発電システム 始めました!

- ★ 太陽光システムには10年間の保証付き
 - ★ 余力電力は売電できます
 - ★ 今なら国からの補助金も!
- 料金シュミレーション等
お気軽にお問合せ下さい
(有)ニシナ電器 代表 仁科 昇
TEL 72-0774



忘年会・歳の祝・法事・各種宴会承ります。

大好評 ヘルシー御膳(要予約)¥1,050 ランチのみ

毎月14日は 黒まぐろデー

この日は 持ち帰り出来ます。

郷土料理 味園 斉藤美保子
古仁屋春日 TEL 72-2276 fax 72-1708

※ 貸事券所あります。お気軽にご相談下さい。

★ 民宿あじぞの…1泊素泊まり2,700円(1人)

1月9日(日) 第35回町駅伝競走大会 広報せとうち(22)